

このたびは、リッチェル製品をお買い上げいただきありがとうございます。

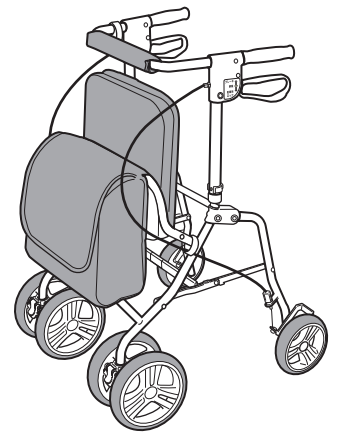
ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため現物とは多少異なることがあります。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も併せてお渡しください。

目次

●ご使用前に	P1	7.杖の固定方法	P5
●用途/特長	P1	8.座面の使い方	P6
●各部の名称	P1	9.布部品の取付け・取外し	P6
●使用上の注意	P2~P3	(背もたれ・座面・バッグ)	
●使用方法	P3	●お手入れ方法	P7
1.駐车用ロックの使い方	P3	●点検について	P7
2.本体の開閉の仕方	P3	●保管について	P7
3.ブレーキのかけ方(ハンドブレーキ)	P4	●廃棄方法	P7
4.ブレーキの調節方法	P4	●仕様	P7
5.キャスターの使い方	P5	●保証書	P8
6.ハンドル高さの調節方法	P5		



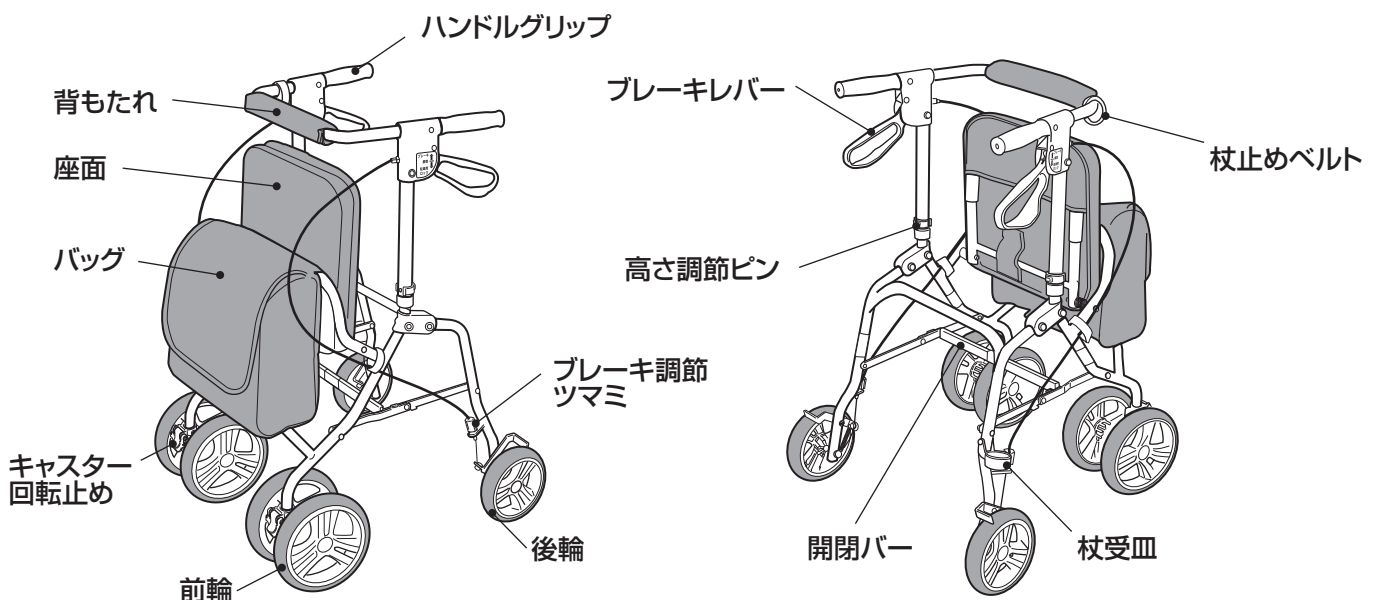
ご使用前に

- ケアマネージャーまたは福祉用具専門相談員にご自身の体調や状態をお知らせのうえ、ご相談ください。
- 車体各部を点検してください。特にハンドブレーキや駐车用ロックを操作したときに車体が動かないことを確認してください。
- お一人でのご使用に不安のある方はできる限り同伴者付き添いのもと、ご使用ください。
- 体調の状態によっては危険な場合もありますので、使用できるかを、ご自身で判断してください。
- 判断に不安のある方は、ケアマネージャーまたは福祉用具専門相談員にご相談ください。

用途/特長

- 本品は主として自立歩行が困難な方の歩行を補助する際に用いる製品です。
- 使用される方に合わせてハンドル高さが78.5~96.5cmの間で7段階(3cmピッチ)に調節できます。
- サイズがコンパクトなので、取り回しがしやすく、せまい通路もスムーズに通ることができます。
- 前輪の径が大きいので、段差の乗り越えがしやすいです。また車輪の幅が広いのでグレーチングにはまりづらいです。

各部の名称



使用上の注意

○記号の説明

この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて、次のマークで表示しています。各マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

警告 …取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

注意 …取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

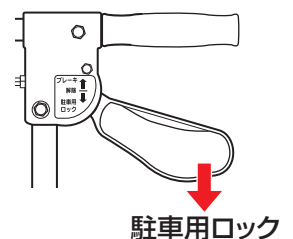
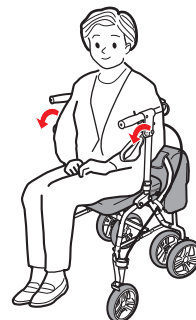
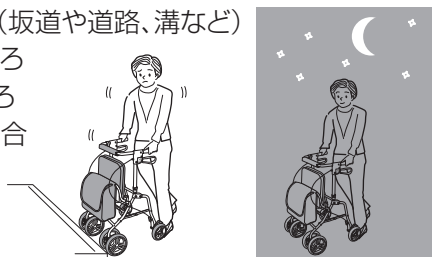
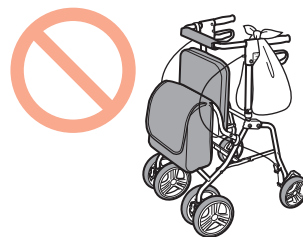
重要 …取扱いを誤った場合、製品の故障・損傷・早期寿命などを招くおそれのあるもの。

 …してはならない禁止事項。

警告

必ずお読みください。取扱いを誤ると重大な事故につながりますので必ずお守りください。

- 用途以外には使用しないでください。
- 本体を完全に開いた状態でご使用ください。完全に開いていないと、使用中に折りたたまれるおそれがあり危険です。
- ハンドブレーキの性能については、ご自身で確認してご使用ください。
- 自動車やバス、電車、エスカレーター、階段では絶対に使用しないでください。
- 雨や雪、凍結など滑りやすいところでは使用しないでください。
- 以下のところや状況では十分に注意してください。
 - ・段差のあるところ(坂道や道路、溝など)
 - ・交通量の多いところ
 - ・混雑しているところ
 - ・夜間に使用する場合
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと横断されることをお勧めします。
- 車体の組立および調整は確実に行ってください。
- 車体が完全に組み立てられた状態であることを確認のうえ、ご使用ください。
- ハンドルの高さ調節部(左右)が固定されていることを確認してください。
- ハンドル高さ調節の最大高さ(7段階調節)は96.5cmです。必ず最大高さ以下で使用してください。最大高さを超えて使用すると、バランスをくずして転倒するおそれがあります。
- 車体を折りたたんだ状態では絶対に使用しないでください。
- 車体を片手で押して使用しないでください。
- 最大使用者体重75kgを守ってください。
- バッグの載荷重は5kgです。5kgを超える荷物は載せないでください。
- ハンドルに寄りかかったり荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけないでください。転倒するおそれがあります。
- 踏み台として使用しないでください。
- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 座面を使用するときは、必ず駐車用ロックを左右の車輪にかけて、車体が動かないことを確認してください。
- 座面に浅く座らないでください。また、座面以外のところには座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面の上などに立たせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届くところに放置しないでください。
- 修理技術者以外の人は分解したり修理しないでください。



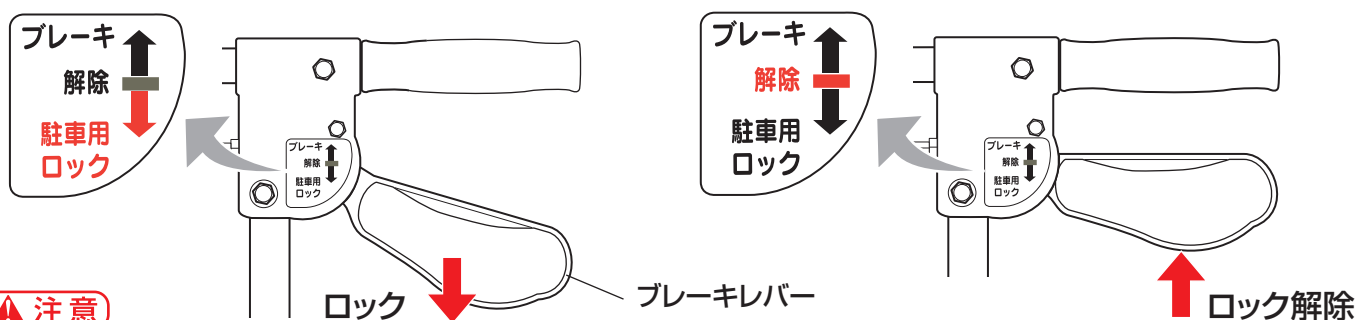
⚠ 注意

- 背もたれなどハンドルグリップ以外の場所を持って歩行しないでください。
- 座面に人を乗せたまま押さないでください。
- 乳幼児や子供、動物をバッグ内に乗せないでください。
- ハンドブレーキや駐車用ロックは自動車のブレーキとは構造的に違いますので、過信しないでください。
- ハンドブレーキを使用するときは左右同時に握ってください。
- ハンドブレーキを握った状態、および駐車用ロックをかけた状態で歩行しないでください。
- 車体の開閉時は、手をはさまないように注意してください。
- 車体から離れるときは、必ず駐車用ロックをかけてください。

使用方法

1. 駐車用ロックの使い方

ブレーキレバーを下側に倒すと駐車用ロックがかかります。上側に戻すとロックが解除されます。



⚠ 注意

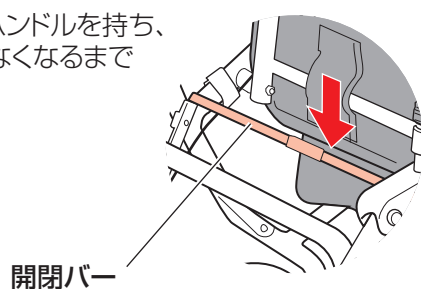
- 本体から離れるときは必ず両側の駐車用ロックをかけ、左右の後輪が回転しないことを確認してください。車体が勝手に動き出すおそれがあります。

重要

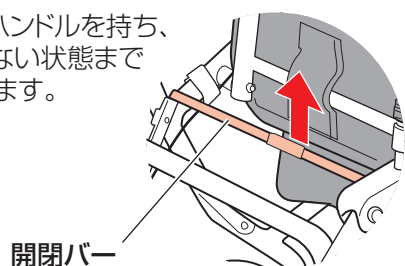
- 駐車用ロックをかけたまま押さないでください。故障の原因となります。

2. 本体の開閉の仕方 ※開閉は駐車用ロックをかけて行ってください。

開くときは片手でハンドルを持ち、開閉バーを下がらなくなるまで押し下げます。



閉じるときは片手でハンドルを持ち、車体が折りたたまれない状態まで開閉バーを引き上げます。



⚠ 警告

- 開閉は駐車用ロックをかけて行ってください。

⚠ 注意

- 開閉時には指をはさまないように十分に注意してください。
- 閉じた状態でのロックはありませんので、閉じた状態でも動かすと車体が開くことがあります。

3. ブレーキのかけ方(ハンドブレーキ)

ハンドルグリップを持ちながら、両手でブレーキレバーを強く握るとブレーキがかかります。



	走行時	ブレーキ時
ハンドル部		
後輪外側		

⚠ 注意

- 使用前にはブレーキが確実にかかることを、十分に確認してください。使用中にブレーキがかかると転倒するおそれがあります。
- ブレーキ操作は両手で行ってください。
- ハンドブレーキを使用するときは、左右同時にかけてください。キャスト回転状態で片方だけブレーキをかけると本体が回転しやすく、転倒するおそれがあります。

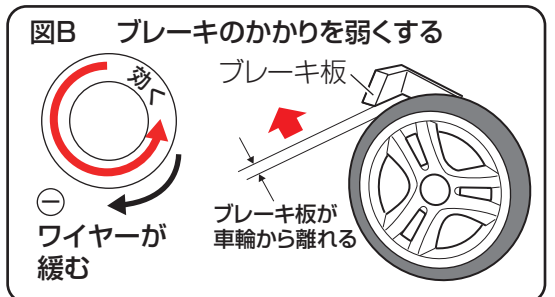
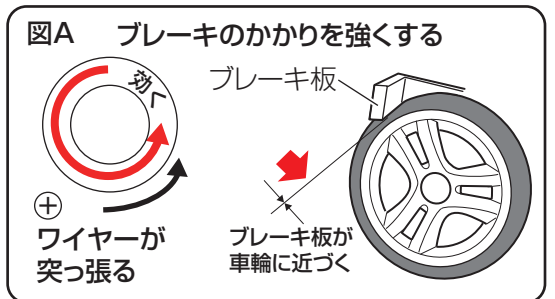
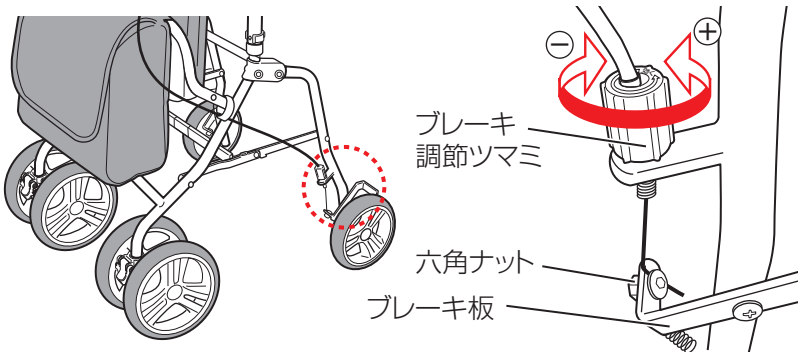
4. ブレーキの調節方法 ※判断に不安のある方は、ケアマネージャーまたは福祉用具専門相談員にご相談ください。

調節はハンドブレーキを「解除」の位置に行ってください。

ブレーキがかかりづらい場合は、以下の手順で調節してください。



ブレーキ調節ツマミを回してブレーキが適度にかかるように調節します。

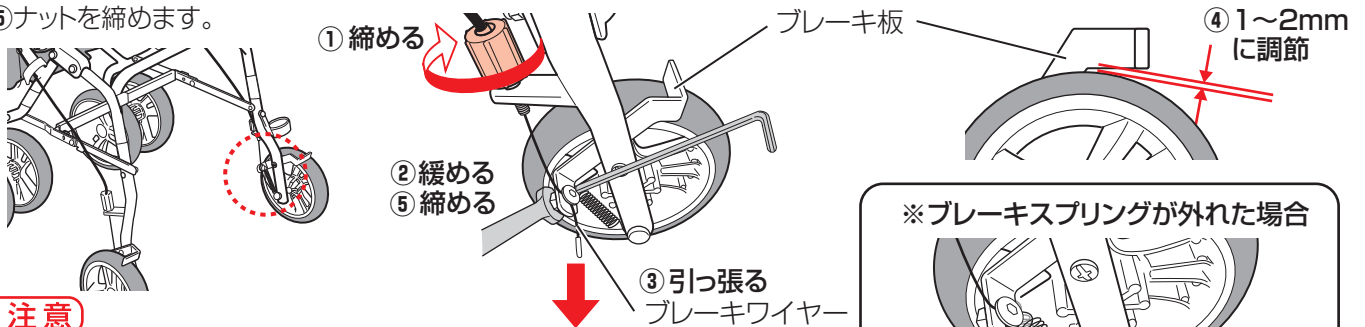


上記の手順でブレーキ調節ができない場合（作業は2人で行ってください）

- ① ブレーキ調節ツマミを上図Bの⊖方向(黒矢印方向)に締めなくなるまで締めます。(ワイヤーは緩んだ状態です)
- ② ブレーキ板のナットを緩めます。
※ブレーキスプリングが外れた場合、フレーム先端に引っ掛けて作業を進めてください。
- ③ ブレーキワイヤーを下側へ引っ張り、ピンと張った状態にします。
- ④ ブレーキ板と後輪のすき間を1~2mmに調節します。(1~2mmの板をはさむと容易にできます)
- ⑤ ナットを締めます。

- <用意するもの>
- 六角スパナまたは、モンキーレンチ
 - 六角棒スパナ

10mm



※ブレーキスプリングが外れた場合



⚠ 注意

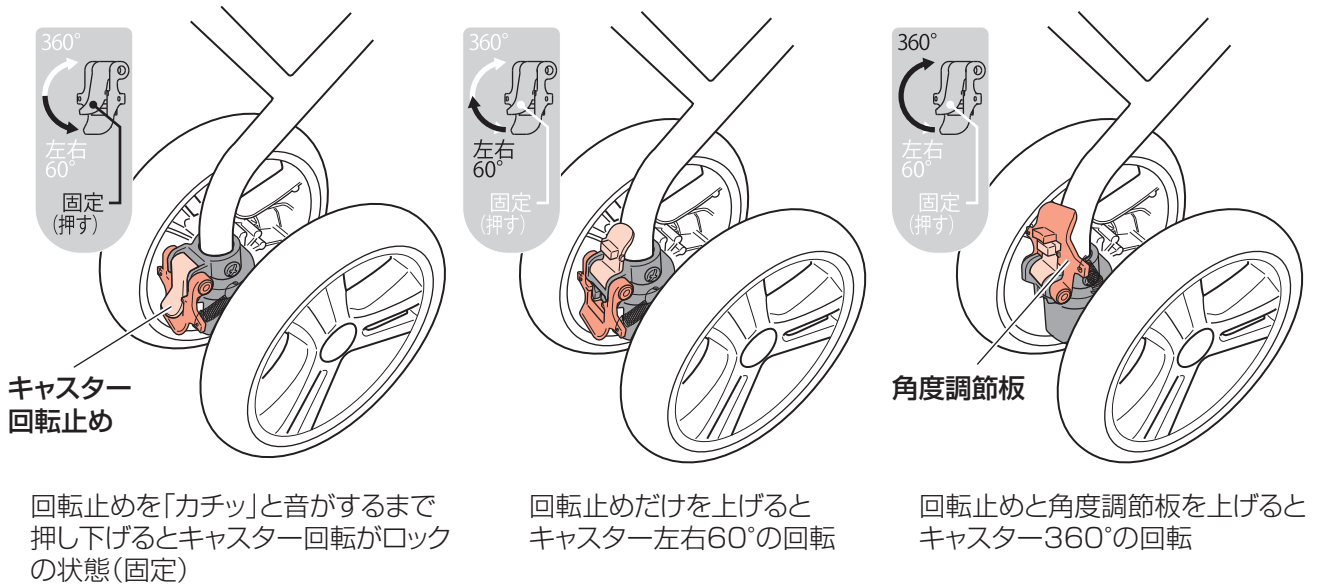
- 両側のブレーキが均等にかかるように調節してください。片効きの場合、不安定になり転倒するおそれがあります。
- ブレーキ調節後、駐車用ロックが正常にかかることを確認のうえ、使用してください。

5. キャスターの使い方

路面状況に合わせて、キャスター回転止めと角度調節板によりキャスターの回転角度が切り替えられます。

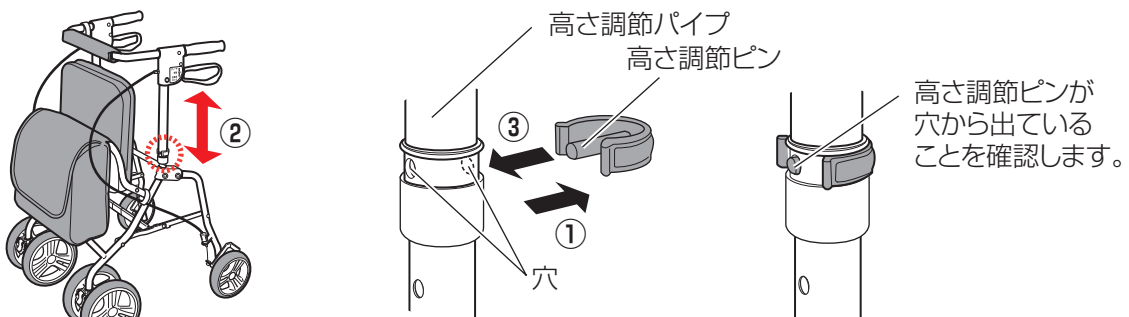
① 傾斜や凹凸のついた路面を走行するときは、前輪左右のキャスター回転止めをロックしてください。直進安定性がよくなります。

② 平坦な路面を走行するときは、前輪左右のキャスター回転止めと角度調節板を使用状況により左右60°、360°の位置にしてください。車輪の方向転換がしやすくなります。



6. ハンドル高さの調節方法

- ① 左右の高さ調節ピンをいったん外します。
- ② 高さ調節パイプを上下に動かし、高さ調節パイプの穴の位置を合わせ、使いやすい高さに調節します。
- ③ 高さ調節ピンを調節した穴に差し込みます。ハンドルの高さは7段階の中から選べます。

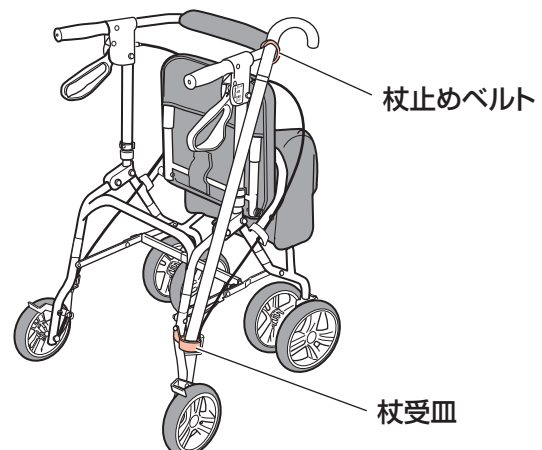


⚠ 注意

- 高さ調節パイプがしっかりロックされていることを確認のうえ、使用してください。
- ハンドル高さの調節時には必ずブレーキおよび駐車用ロックの調節を行ってください。(P4「4. ブレーキの調節方法」を参照してください。)

7. 杖の固定方法

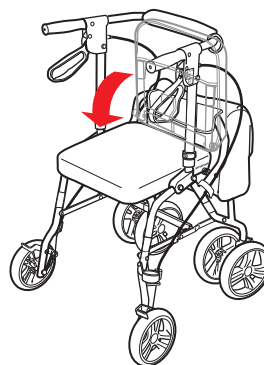
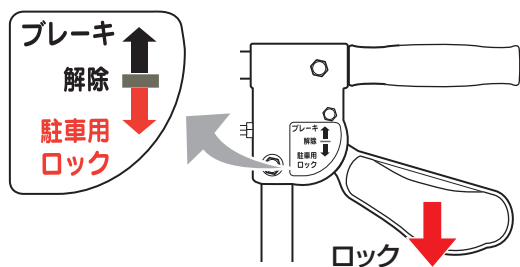
杖を本体に固定するときは、杖の先端を杖受皿に入れて杖止めベルトで固定してください。



8.座面の使い方 ※座面を動かすときは、手や指をはさまないように十分に注意してください。

①座面に腰かけるときは、まず両側の駐車用ロックをかけて、車体を動かないようにします。

②座面を図のように下げます。
※座面を収納する場合は、逆の手順で行ってください。



警告

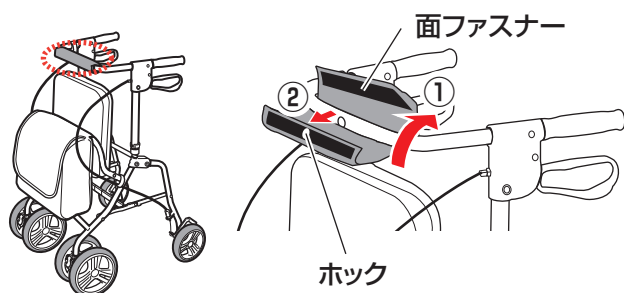
- 座面を使用するときは、必ず駐車用ロックを左右の車輪にかけて、車体が動かないことを確認してください。
- 座面を踏み台として使用しないでください。
- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。また、座面以外のところには座らないでください。
- 座面から立ち上がるときは、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。

9.布部品(背もたれ・座面・バッグ)の取付け・取外し

※取付けは、取外しと逆の手順で行ってください。

背もたれ

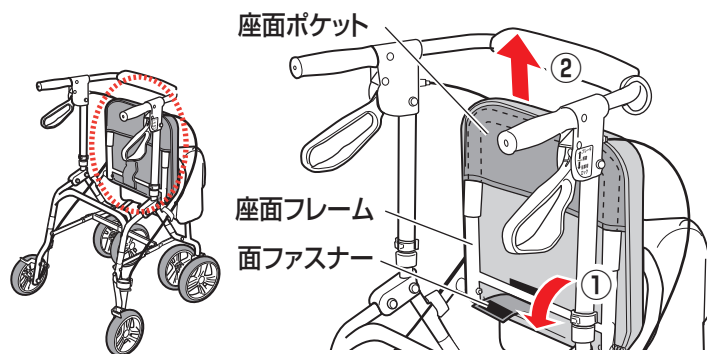
取外しは、①面ファスナーを外します。
②ホックを外します。



座面

取外しは、①面ファスナーを外します。
②座面フレームから座面を外します。

※取付けは、座面フレームを座面ポケットに入れてください。

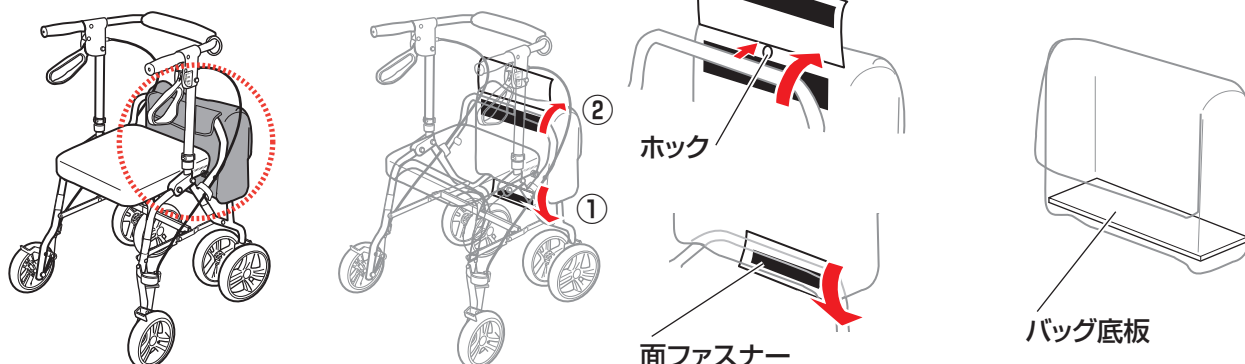


バッグ

※座面を下げた状態で行ってください。

取外しは、①下側の面ファスナーを外します。
②上側の面ファスナーとホックを外します。

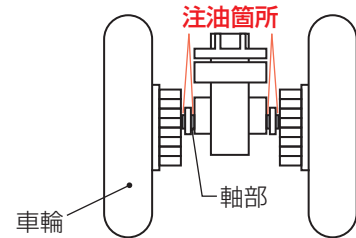
※バッグにはバッグ底板が入っています。
取付け時には、バッグ底板を入れ忘れないよう注意してください。



お手入れ方法

重要

- 汚れは水で薄めた中性洗剤をつけたタオルを固くしぼってふき取ってください。ふき取った後は、風通しのよい場所で陰干しにしてください。濡れたままで放置するとサビの原因となります。
- タワシやみがき粉などは使用しないでください。変色やキズ、サビの原因となります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品は使用しないでください。変色や塗装ハクリの原因となります。
- 車体や車輪にきしみ音がしたり作動が鈍いときは、その箇所に少量のシリコン系潤滑油を注油してください。
- バッグは洗濯しないでください。
- バッグの汚れが気になる場合は、水で薄めた中性洗剤をつけたタオルを固くしぼってふき取ってください。ふき取った後は、風通しのよい場所で陰干しにしてください。濡れたままで放置すると変色や変形、カビの原因となります。



点検について

重要

- ネジやジョイント類の緩み、部品の破損、タイヤの摩耗、および、ブレーキの作動不良がないかを定期的に点検し、異常を発見した場合は使用を中止し、サービスを受けた福祉用具貸与事業所までご連絡ください。
- 改造、また部品の代用は絶対にしないでください。故障の原因となります。

保管について

重要

- 雨ざらしにしないでください。サビによる故障の原因となります。
- 駐車用ロックをかけた状態で長期間保管された場合、ブレーキ板の圧力で後輪が凹んでしまうおそれがあります。駐車用ロックをかけない状態で車体を折りたたんでも自立できる水平な場所での保管をお勧めします。
- 直射日光を避け、湿気が少なく雨のかからない場所に保管してください。
- 直射日光が当たる場所に長時間放置しないでください。色あせの原因となります。
- 火の近くや高温になる場所での放置は避けてください。変形や故障の原因となります。

廃棄方法

- お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分や破棄してください。

仕様

品名	アルカーレ CH			
サイズ	幅52.5×奥行57.5×高さ78.5～96.5[7段階](cm)	材	フレーム・パイプ	アルミ
折りたたみ時サイズ	幅52.5×奥行40×高さ83.5(cm)		車輪	ポリプロピレン・EVA樹脂
座面の高さ	44.5 cm	質	ハンドルグリップ	塩化ビニル樹脂
重量	5.5 kg		バッグ・座面	ポリエステル
載荷重	バッグ : 5 kg			
容量	バッグ : 7.5 L			
最大使用者体重	75 kg			

※下記の保証内容は商品をご購入頂いたお客様向けのものです。

レンタル(貸与)でご利用されたお客様はサービスを受けた福祉用具貸与事業所へお問い合わせください。

保証書

保証基準

- ① 本品の品質保証期間は、お買い求めになった日より1年間です。
- ② 保証期間内に故障して無料修理・交換を受ける場合には、本書をご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。
- ③ 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
 - ・本書のご提示がない場合。
 - ・本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ・使用上の誤り、不適切な手入れ、不当な修理や改造などによる故障または損傷。
 - ・天災地変、事故、落下による故障や損傷。
 - ・消耗品の劣化、損傷、汚れ。
 - ・実費修理の際に要する運賃などの諸経費。
 - ・製品による二次的な損傷や損害。
 - ・業務用、施設用など一般家庭以外で使用された場合。
 - ・ネットオークション、フリーマーケット、リサイクルショップなどにより第三者から購入したり譲渡を受けた使用経緯の確認できない製品。
- ④ 原則として、一度ご使用になった製品は、お取り替えすることはできません。故障箇所の修理・交換で対応いたします。
- ⑤ 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは受付できません。
- ⑥ ご贈答、ご移転で本書に記入してある販売店に修理を依頼できない場合はお客様相談室へご相談ください。
- ⑦ 本品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。
- ⑧ 製造中止後の製品については、必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- ⑨ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理・交換をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、この保証期間後の修理などについてご不明な場合は、お客様相談室にお問い合わせください。

商品名	アルカーレ CH		ロット番号 (本体後ろ側のロットシールをご覧ください。)	
お買い上げ年月日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より1年 (ただし、保証基準による)	故障内容記入欄
お客様	ご住所(〒 -)	住所(〒 -)		
	お名前	販売店名		
	電話番号 - -	電話番号 - -		

- お買い上げ後、商品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名・ロット番号をただちに記入願います。
- ご提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
- 本書は再発行はいたしませんので大切に保管してください。

販売店発行のレシート(領収書)を保管していただき、本書を提示していただく際に添付してください。

領収書(レシート)貼付け欄

製品の外観および仕様は、品質向上のため予告なく一部変更する場合があります。
この商品の品質で、お気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

株式会社 リッチェル

富山市水橋桜木136 〒939-0592

お客様相談室/TEL(076)478-2957

受付時間: 9:00~17:00 (土日、祝日を除く)

www.richell.co.jp

Designed by Richell Corp., Japan

MADE IN CHINA

